

## こどもの感染症シリーズ②

### 手足口病ってなに？

手足口病とは、こどもの「三大夏かせ」の一つで、その名前の通り、口の中の粘膜や手足に水ぶくれができる急性のウイルス感染症です。英語でも hand (手), foot (足) and mouth (口) disease (病気) (HFMD) と書きます。この病気はコクサッキーA16、A6 やエンテロウイルス 71 (EV71) などのエンテロウイルス属への感染が原因となります。手足口病流行のピークは夏ですが、秋から冬にかけても多少の発生が見られています。2000 年以降では、エンテロウイルス 71 (EV71) が何年か毎に大きな流行を繰り返しています。たしか「ヘルパンギーナもエンテロウイルス属じゃなかった？」と思ったあなた。するどい!! ヘルパンギーナも手足口病も同じ系統のウイルスが原因です。ですので、ヘルパンギーナ同様、抗生物質（抗菌薬）は効きません。

新型コロナウイルス感染症と同様、5 類感染症に分類されます。



### 症状は？

感染してから 3~5 日の症状の出ない期間（潜伏期間）をおいて、口の中の粘膜、手のひら、足の裏や足の甲などに 2~3mm の水ぶくれができます。ときどきに肘、膝、おしりなどにもできることもあります。

口の中の水ぶくれは口内炎になることもあります。発熱は約 1/3 に見られますが 38℃以下のことがほとんどです。通常は 3~7 日で症状はなくなり、水ぶくれがかさぶたになることはありません。まれに幼児を中心に髄膜炎、脳炎などの中枢神経系合併症が出る場合があります。



### 感染経路は？

くしゃみや咳などの飛沫によって感染する「飛沫感染」と、触れることで感染する「接触感染」が主な感染経路です。また、回復してからも、便から 2~4 週間にわたってウイルスが排泄されるので、便で汚染されたもの（おむつなど）を処理した後、手をきちんと洗浄していないとそこから感染する場合があります。

感染している人とのタオルなどの共用は避けましょう。



## 消毒方法は？

アルコールが効きにくいとされています。そのため、こまめに水と石鹸でよく手を洗うことが重要です。また、感染者とのタオル等の共用は避けましょう。

## 治療法は？

彦根休日急病診療所通信V o 1.1で紹介した「かぜには抗生物質（抗菌薬）は効かない？」に書いた通り、手足口病は、ヘルパンギーナ同様、ウイルス性の感染症のため、「抗生物質（抗菌薬）」は効きません。特別な治療法はなく、基本的には軽い症状の病気ですから、経過観察を含め、症状に応じた治療となります。しかし、まれに髄膜炎や脳炎など中枢神経系の合併症などが起こる場合がありますから、経過観察をしっかりと行い、高熱が出る、発熱が2日以上続く、嘔吐する、頭を痛がる、視線が合わない、呼びかけに答えない、呼吸が速くて息苦しそう、水分が取れずにおしっこがでない、ぐったりとしているなどの症状がみられた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

## 学校は休むの？

明確に、学校を何日間休まないといけないような規定はありません。

（参考）厚生労働省 手足口病に関するQ&A

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

国立感染症研究所 手足口病とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/441-hfmd.html>